

『風と湖と』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

ふじざくら支援学校 地域とのつながりを図る！

FC ふじざくら山梨・NPO 法人富士と湖とかかしの里

との交流事業

11月16日(木)、ふじざくら支援学校(手塚雅仁校長)では、2つの地域交流事業が行われました。午前中は中学部の生徒たちが、サッカー及びボール運動の授業講師として、FC ふじざくら山梨の選手及びスタッフ(5名)をお招きし、体験活動を行いました。

全員でランニングと準備体操を行った後、最初の活動は「しっぽとり鬼ごっこ」！生徒たちはFC ふじざくら山梨の選手たちと2人一組になり、鬼役の生徒が腰につけたしっぽを取りに走り回りました。生徒たちは本当に元気！一緒に走り回るFC ふじざくら山梨の選手たちが引っ張り回されるくらいでした。非常に盛り上がり、最後のゲームが終了した時には、生徒たちの方から「アンコール！アンコール！」の大合唱が。アンコールに応じて再度ゲーム開始！今回はFC ふじざくら山梨の選手がしっぽをつけ、生徒が鬼役になりました。逃げる選手も追う生徒たちも本当に必死でした。



しっぽとり鬼ごっこの後は、いよいよサッカーです。授業で取り組んでいる「インサイドキック」と「インステップキック」、さらに「シュート」の練習を行いました。FC ふじざくら山梨の選手が見本を見せた後、コツなども伝えながら指導してくれました。練習をすればする程上手になる生徒たち。段々蹴る力も強くなり、なかには蹴った拍子にうわばきまで飛んでしまうハプニングも。最後のシュート練習ではFC ふじざくら山梨の選手がキーパーをつとめてくれました。ゴールを奪うと、喜んでハイタッチ！選手も生徒たちも笑顔があふれた、素晴らしい時間になりました。

午後には高等部農園班の生徒たちが、NPO 法人富士と湖とかかしの里(八須一陽理事)との地域交流を行いました。学校の農園に富士と湖とかかしの里のスタッフとともに苗を植えて成長した野菜や自分たちで育てた野菜を収穫して、富士と湖とかかしの里に届けました。この野菜は11月19日の「ニコニコかかし食堂(こども食堂)」で提供されました。



明日の風 芸術文化振興事業

観て・聴いて・触れて 音楽を五感で体感する！ 打楽器ワークショップ&ミニコンサート



10月28日(土) 富士吉田市の銘楽堂で「観て・聴いて・触れて 音楽を五感で体感する！打楽器ワークショップ&ミニコンサート」を開催しました。これは「明日の風・芸術文化振興事業」の一つとして、教職員の皆さんを対象に実施したものです。今回は教職員の皆さんとご家族あわせて22名に参加していただきました。当日は2部構成で、第1部が打楽器奏者の山本晶子さんによるワークショップ、第2部が山本さんと、銘楽堂・音楽監督の望月恭子さんによるミニコンサートでした。

ワークショップでは、ボディリズム、手や身体での音の出し方、すず・カスタネット・タンブリン等の身近な楽器の使い方などを指導していただきました。今まで知らなかった奏法や音の鳴らし方、強弱の付け方などを体験することができました。また、紙コップやコピー用紙を楽器にして行うリズム遊びなども教えていただき、とても良い学習になりました。参加した方からは「こんな打法があるんだと目から鱗でした。」「楽器の持ち方や音の出し方など、とても勉強になりました。」「打楽器でこんなに楽しめるとは思いませんでした。」「すぐにでも実践してみたい」等の感想をいただきました。



ミニコンサートでは、望月さんのピアノ、山本さんのマリリンバの演奏を楽しみました。「おもちゃの兵隊の行進曲」では台所用品を使ったキッチンビートもご披露いただき、打楽器の世界が更に広がりました。参加者の方からの「音楽は無条件で誰もが幸せな気持ちになったり、頑張ろうという気持ちにさせてくれたりすることを再発見できました」という感想が全てだと思います。

短い時間でしたが、とても充実した気分を味わうことができました。ここで学んだことを、これからの実践に活かしていただければ幸いです。

クリスマスコンサート

12月16日(土)に上野原市文化ホールにおいて、地域教育「明日の風」芸術文化振興事業『銘楽堂 PRESENTS クリスマスコンサート』が開催されました。昨年度の『ファミリーコンサート』に引き続き、2回目となるこのコンサートには、小中学生とその保護者、ことぶき勸学院の生徒さん及び一般の方で、あわ

せて71名の方に参加していただきました。

今回のコンサートは、ピアノ(望月恭子さん)、フルート(高木美里さん)、クラリネット(中島健太さん)、チェロ(宮尾悠さん)の四重奏で、クリスマスに関わる楽曲などを演奏していただきました。4人の演奏から始まって、楽器紹介を兼ねた2人ずつの演奏、そしてまた四重奏に戻るといった構成で、子ども達も耳にしたことがある楽曲を聴かせていただきました。「おもちゃシンフォニー」という曲では、望月さんがピアノの代わりに水笛やリコーダー、タンブリン等の楽器(?)を駆使して演奏してくださいました。メロディーに合わせて楽器を素早く取り替える演奏はお見事でした。

今回も大好評のうちに終了したコンサート。演奏者の皆さん、一足早いクリスマスをありがとうございました。



明日の風 第19回 伊藤知治教士八段剣道教室



北都留地域教育推進連絡協議会（「地域教育 明日の風」会長：村上信行上野原市長）では、11月23日（木）に、大月短期大学体育館で第19回伊藤知治教士八段剣道教室を開催しました。昨年度に引き続き参集形式での開催となりましたが、今年度は大月市、上野原市、西桂町、道志村の29名の子ども達が参加しました。また、各スポーツ少年団、中学校剣道部の総勢20名にも及ぶ先生方にもご協力をいただきました。

講師の伊藤知治教士八段は大月市のご出身で、長きにわたって警視庁で剣道や逮捕術の指導にあたられてきた偉大な先輩です。また、伊藤先生は剣道と居合道の両方で八段を取得されていますが、これは全国でも3人しかいないほど難しいものです。このような偉大な先輩から直接指導をしていただける貴重な機会に子ども達も目を輝かせていました。

伊藤先生からは、正しい素振りの仕方、構え方、足さばき、気合いを含めた声の出し方等を丁寧に教えていただき、子ども達は改めて基礎・基本の大切さを感じたようです。「基礎が一番大切で、基礎がうまければ他の事もうまくなる」という先生の言葉が強く心に残ったという感想を書いてくれた子もいました。また、「自分で決めたことをやり通す」「続けていくことが大事」といった、剣道に限らず、日常生活にも通じる大切なことも教えていただきました。

子ども達にはこの剣道教室で学んだことをもとに、さらに稽古を積み、少しでも伊藤先生に近づけるように精進して行ってほしいと思います。



明日の風 「一人一花 フォトライブラリー」

北都留地域教育推進連絡協議会（「地域教育 明日の風」会長：村上信行上野原市長）では、子どもたちが未来に向かって「夢」や「希望」を持ちながら生きていくことができるように、地域の教育力向上を意図する「地域教育 明日の風」の活動の一環として「一人一花運動」を進めてきました。

4月に北都留地区の全ての幼・保・小・中・高・支援学校・大学及び主な構成団体と、小学校3年生及び保育所（園）・幼稚園・こども園の年長児全員に花の種約1,500袋を配付して、花のある豊かな潤いのある環境づくりを通し、情操教育や地域づくりに役立てる取り組みをおこなってきました。

マリーゴールド・百日草・ひまわり・ルナリアなどが、各地でこころを込めて育てられ、今年も多くのきれいな花を咲かせました。その様子を収めた写真展『フォトライブラリー展』が、11月6日（月）～12月8日（金）まで、北都留教育会館で開催され、多くの方々が見学に訪れました。展示物の作り方も学校によって個性的。それぞれの学校が、それぞれの花を咲かせていました。



大月市 ふるさと教育研究会

11月21日(火)に「令和5年度ふるさと教育研究会」が行われました。これは大月市の学校教育指針に示されているふるさと教育の理念や目標について共通理解を深め、その充実を図ること等を目的に実施されているものです。今年度は大月東小学校を会場に、大月東小の全教職員、市内小中学校の教職員2名ずつ、教育委員、学校教育課職員、教育支援室職員の、およそ40名が参加しました。

研究会では、まず教育支援室の星野徳一先生から「大月市におけるふるさと教育」の基調提案が行われ、ふるさと教育の目的が再確認されました。また、各学校で取り上げてほしい6つの地域素材(猿橋、岩殿山、甲州街道、大月空襲、駒橋発電所・ハツ沢発電所施設、桃太郎伝説)が提起され、授業化にあたっての留意事項についても示されました。

続いて、会場校である大月東小学校から実践発表が行われました。1年生の「桂川ウェルネスパークへの校外学習」、2年生の「大月駅、猿橋公園などへの校外学習」、3年生の「大月市立図書館や大月市民会館等への校外学習と調べ学習」、4年生の「五ヶ堰についての学習」、5年生の「梅もぎ体験」、6年生の「大月空襲・遺跡ハイク」の学習の様子が発表されました。一つ一つの取り組みに担任の先生の思いが込められていることが伝わってきました。

最後にグループ協議で、6つの地域素材の具体的な実践方法について意見交換を行いました。各グループからの発表では「学校間の情報交換ができた。」「担任が一人でやるのではなく、ネットワークをつくってやっていけばいいのでは。」「取り組みが単発にならないように系統性を持たせていくことが大切。」等、多くの意見が出されました。

大月市における「ふるさと教育」がさらに充実したものとなっていくような研究会だったと思います。



【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/jouhoushibackn.html> 】

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めてまいります。各事業についてご意見ご要望、地域連携活動の情報がありましたら、教育支援スタッフまでご連絡ください。

※連絡先 富士・東部教育事務所 教育支援スタッフ 0554-45-7841